学校番号	3033

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の音楽Ⅰ」　（教育芸術社）						
副教材等	ベートーヴェン「歓喜の歌」（ハンナ社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本格的な芸術作品に触れ、挑戦する機会を持ち、高校時代に芸術に対する素養を身につけることを、教科の課題としています。
茨木高校音楽会に向けて、クラス合唱では各クラスで選曲し練習を進めていきます。器楽分野では、クラシックギターの基本的な奏法を学び、グループアンサンブルをします。
音楽会の最後に歌うベートーヴェンの『第九』は、学年を超えて1，2年音楽選択者全員で演奏します。音楽会での発表を通して、みんなで創り上げていく楽しさや喜びを感じてほしいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の表現方法や形式について理解を深めると共に、意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽作品の良さや美しさ，表現の意図と創意工夫，歴史的背景などについて考え，価値意識をもって音楽や音楽文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に音楽の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，音楽文化について親しみ，豊かな感性を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2年前期	ギターアンサンブル	【器楽】 ・ギターの種類と音色について ・ギターの奏法について ・アンサンブルについて ・課題曲の演奏	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 a：ギターの奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:ギターの演奏やアンサンブルに関する知識や技能を得たり意識したりしながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、ギターの奏法、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的にアンサンブルで表現する学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
2年後期		【歌唱】 ～音楽会に向けて～ ・クラス合唱(混声4部) クラスごとに課題曲1曲・自由曲1曲を決定 ・交響曲第九番「合唱付」より第4楽章(ベートーヴェン) 1年次の復習 【鑑賞】 「第九」の演奏を聴く 音楽会での演奏	a:クラス合唱曲について、曲想や奏法について理解している。 a:　声楽の基本的な奏法を理解し、他者との調和を意識しながら演奏する技術を身に付けている。 b:　声楽の演奏や合唱に関する知識や技能を得たり意識したりしながら、その関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫している。 c:　曲想と声楽の音色や奏法との関わりについて理解したり、発声や、基本的な身体の使い方、他者との調和を意識し、創意工夫して主体的・協働的に歌唱で表現する学習活動に取り組もうとしている。	パフォーマンス課題	パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度